

設計コンセプト及びスケジュール

実施設計の概要より抜粋・・・新庁舎の計画地



大國魂神社は、東京都府中市に所在する神社。武蔵国の総社であり、東京五社の一社。
他の四社は東京大神宮、靖国神社、日枝神社、明治神宮。

初詣の参拝客数は約50万人

1日の平均乗降客数（2022年）

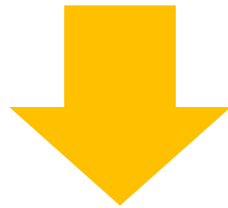
京王線府中駅：75,924人

JR府中本町駅：28,108人

その他事業計画との関係性（中心市街地活性化ビジョン）

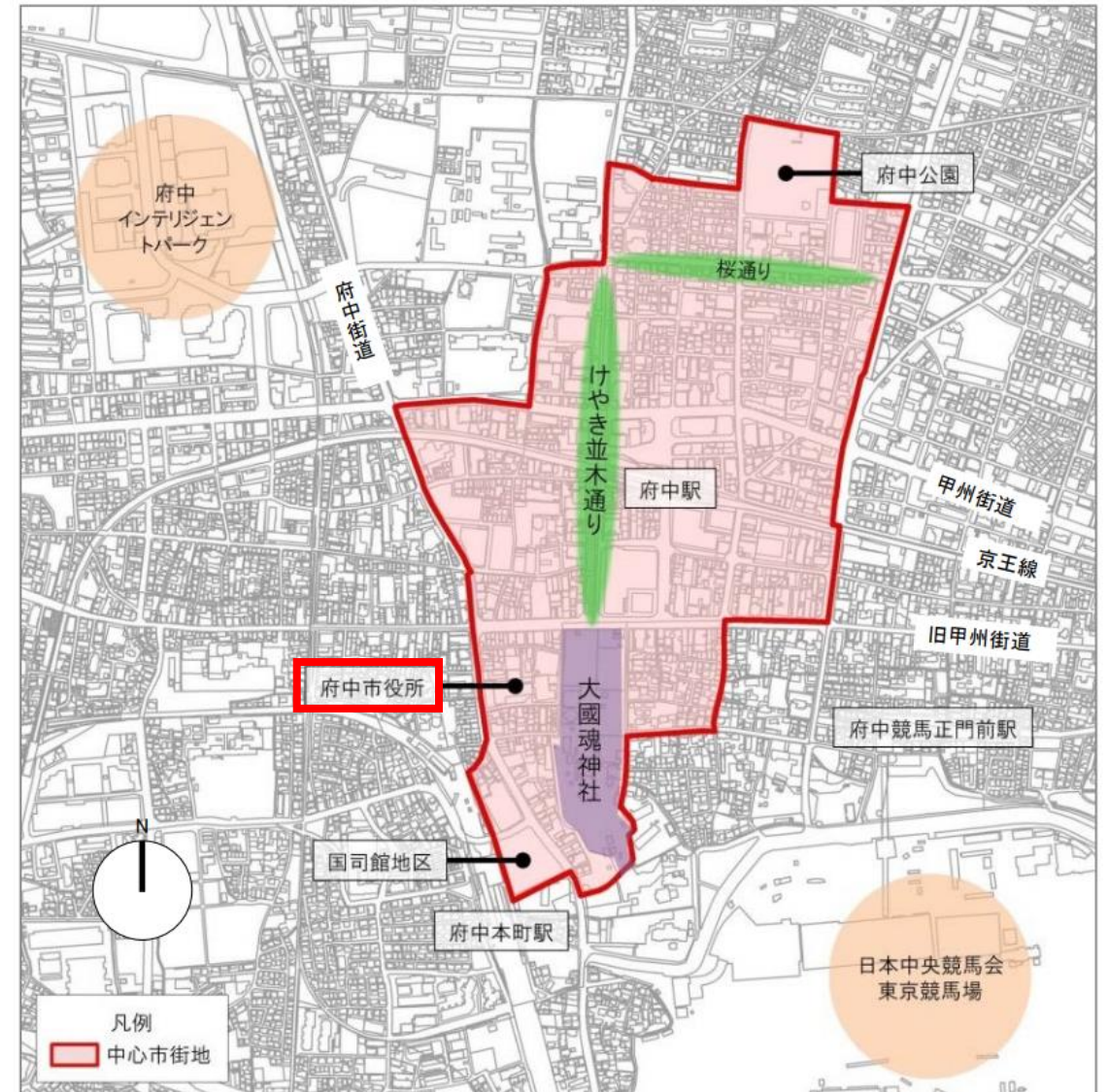
府中市では「中心市街地活性化ビジョン」を策定し、市全体がより活力のある地域となるための核として、魅力と活力を創出する中心市街地の形成を目指しています。

新庁舎「おもや・はなれ」も中心市街地に位置しており、「にぎわい」を生む回遊の拠点としての役割を担うことを想定しています。



新庁舎の売店・レストランの誘致においては、新庁舎の敷地内だけではなく、周辺の駅や大國魂神社、けやき並木等とのつながりを意識しながら、「にぎわい」を創出できる事業者の選定を目指します。

府中市の中心市街地の区域



その他事業計画との関係性（中心市街地活性化ビジョン）

ビジョンの基本理念と基本方針（参考）

本市全体がより活力のある地域となるための核として、魅力と活力を創出する中心市街地の形成が必要です。本市が誇る歴史や文化をいかし、「中心市街地における課題のまとめ」で整理した、「①経済活力の向上・②回遊性の創出・③市民交流の増進・④SDGsの推進」といった課題に取り組み、次世代につなぐ本市ならではの持続可能なまちづくりを進めていきます。

そのためには、収集した地域の意見を反映しつつ、地域の魅力を磨くことで「府中らしさ」を追求し、継続的に訪れたい・働きたい・住みたいと思える求心力のある中心市街地を実現する必要があります。

以上のことから、これまでの府中市中心市街地活性化基本計画のテーマを継承した、ビジョンの基本理念と基本方針を右記に定めます。

府中市中心市街地活性化の基本理念 「“府中らしさ”を活かしあう、求心力のある中心市街地の形成」

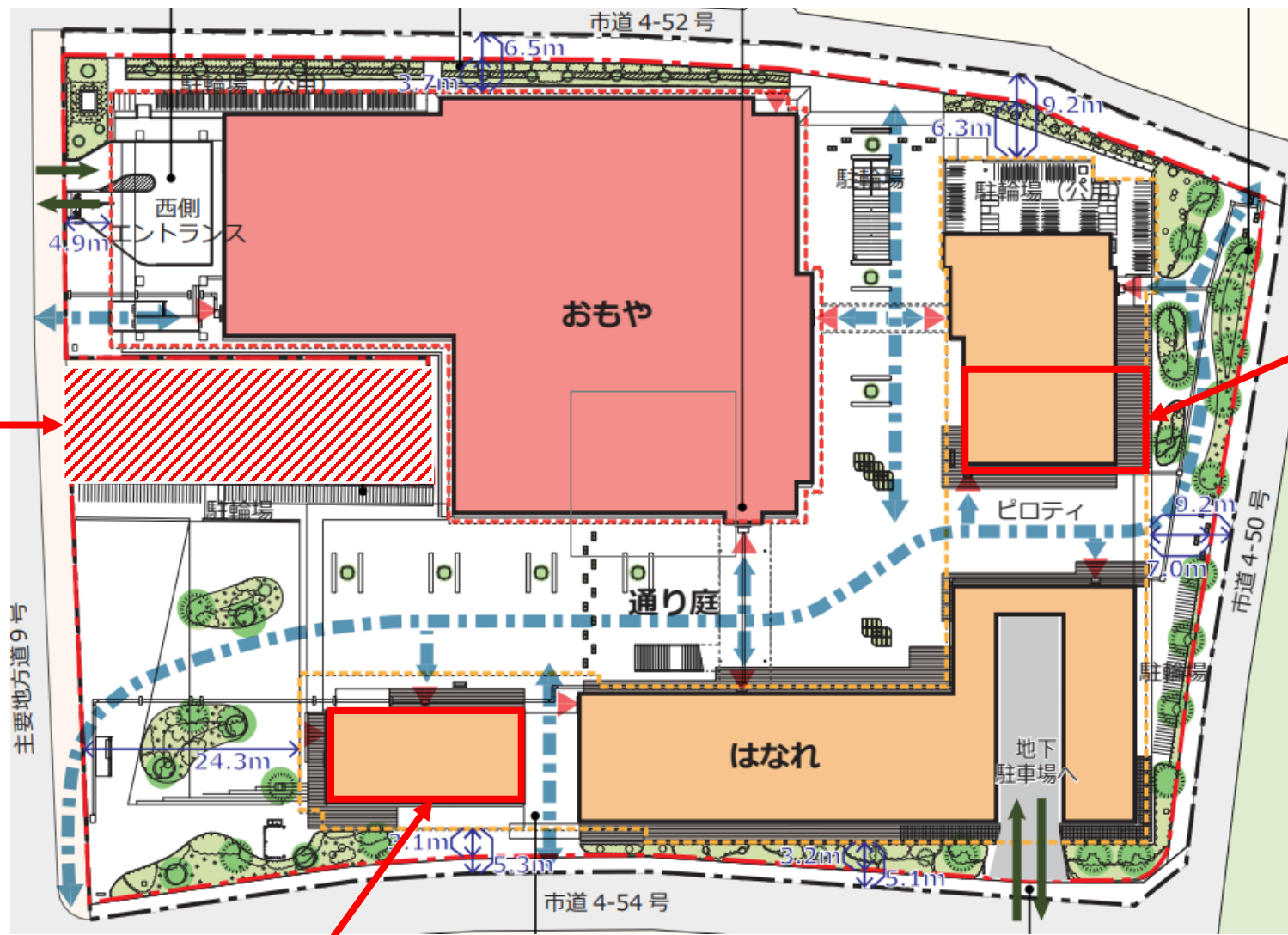
中心市街地活性化ビジョンの基本方針

- 方針1 地域資源をいかしたにぎわいと回遊性のあるまちづくり
- 方針2 多様な主体が連携した一体感のあるまちづくり
- 方針3 時代の変化に呼応する持続可能なまちづくり



実施設計の概要より抜粋・・・売店・カフェの配置

当該敷地は新庁舎敷地として拡張し、駐輪場の位置や植栽計画の見直しを予定しています。



カフェ

売店

※現在、新庁舎「はなれ」の修正設計を行っており、外構の植栽や駐輪場、喫煙所等の配置の変更を予定しております。

実施設計の概要より抜粋

1階
やむを得ず

- ・総合案内やエレベーター、エスカレーターは、出入口から分かりやすい位置に計画します。
- ・メインエントランスの近くに十分な広さのコピーを配置します。

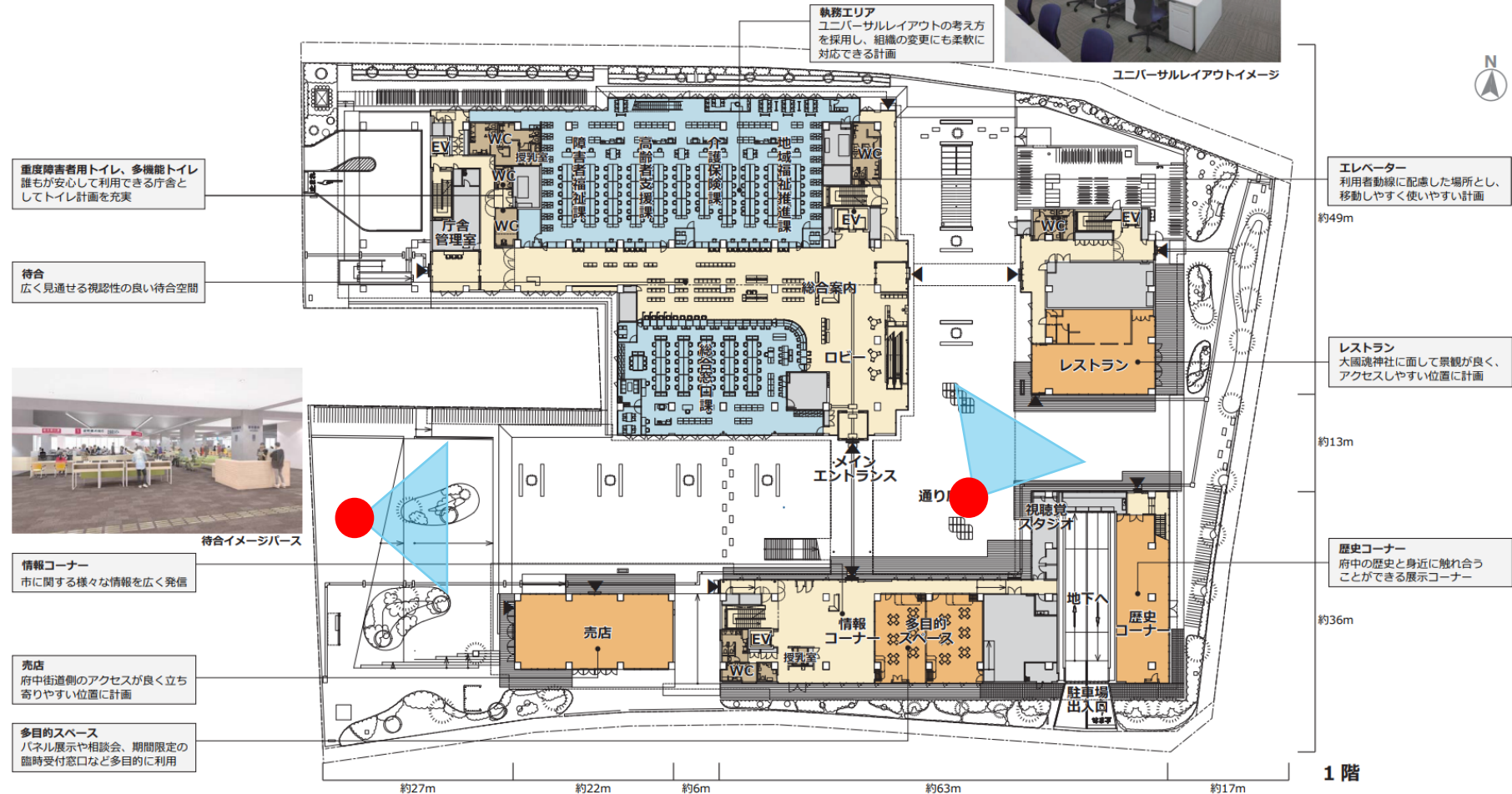
はなれ

- ・売店やレストランは、アクセスの良い位置に計画します。
- ・情報コーナー・多目的スペース・歴史コーナーを設置し、市民が気軽に、様々な目的で訪れやすい計画とします。



ユニバーサルレイアウトイメージ

● イメージパースの視点



重度障害者用トイレ、多機能トイレ
誰もが安心して利用できる庁舎として
トイレ計画を充実

待合
広く見通せる視認性の良い待合空間



待合イメージパース

情報コーナー
市に関する様々な情報を広く発信

売店
府中街道側のアクセスが良く立ち寄りやすい位置に計画

多目的スペース
パネル展示や相談会、期間限定の臨時受付窓口など多目的に利用

エレベーター
利用者動線に配慮した場所とし、移動しやすく使いやすい計画

レストラン
大國魂神社に面して景観が良く、アクセスしやすい位置に計画

歴史コーナー
府中の歴史と身近に触れ合うことができる展示コーナー

● 執務エリア	● 共用スペースエリア
● 会議室エリア	● 議会エリア
● 市民利便スペースエリア	● その他諸室エリア

※執務エリアに記載されている部署名は現時点における想定を参考記載したものです。

実施設計の概要より抜粋・・・イメージパース（通り庭南側からみたレストラン）



実施設計の概要より抜粋・・・イメージパース（府中街道側からみた通り庭）



売店

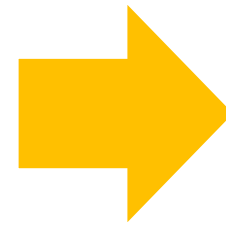
実施設計の概要より抜粋・・・イメージパース（府中街道側からの鳥観図）



府中市新庁舎のコンセプトについて

府中宿を始めとしたかつての宿場町は、まちをつなぐ街道沿いに存在し、旅籠^{はたご}、商店、茶屋などが軒を連ね、常に人が行き交い、にぎわいにあふれている場所でした。

府中市庁舎もまた府中駅と府中本町駅のにぎわいをつなぐ場所にあります。ここに、日常の通り道であり、また用があってもなくても立ち寄れる、常に人の活気にあふれる「現代の宿場町」のような庁舎をコンセプトとします。



売店・レストラン等の誘致により、市庁舎の「にぎわい」を創出したいと考えています。

開庁時間に限らず、時間外及び土日、祝日にも市民の方が利用できるような店舗の誘致を目指します。

○交流を促進する場の提供【府中市庁舎建設基本計画より】

市民が気軽に情報交換や交流を行える場となる、レストランやカフェなどの設置を検討します。

○市民が集う開かれた庁舎を実現するための機能【府中市庁舎建設基本計画より】

- ・夜間や休日利用の拡充を検討し、より多くの市民に利用される使いやすい庁舎となるよう計画します。
- ・休日などに利用が可能な市内外の人が集う場を提供します。

○歳入確保策の検討【府中市庁舎建設基本計画より】

新庁舎におけるレストラン、売店、駐車場など、民間のノウハウを活用することが可能な施設等については、更なる市民サービスの向上を図るとともに、市の収入確保が可能な仕組みを検討します。

○「にぎわい」の創出【実施設計の概要より】

府中市庁舎は府中駅と府中本町駅の「にぎわい」をつなぐ場所にあります。日常の通り道であり、常に人の活気のある、また用があってもなくても立ち寄れる「現代の宿場町」のような庁舎をコンセプトとしています。

想定スケジュール

市が実施

工事施工者が実施

事業者が実施

